

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどうした事でしょう?」)

N. d'amosha fan

チヨースンのよゝめる話 〜展示会視察のポイント〜

先月、約3年ぶりに展示会の視察に行つて参りました。サイン&ディスプレイショーという、屋外広告・看板事業に関連する展示会です。今回はその内容に触れつつ、私なりにオススメしたい展示会視察のポイントをお伝えしたいと思います。

まず、結論としてお伝えしたいのは、展示会視察のポイントには「展示会をどう見るか・どう関わるか」です。というのも、視察も人によつてはただの散歩道。でも、一方では刺激の塊・自身や事業の成長の糧にされるなど様々。これを書いてる私も未熟者の一人ではあります。この記事を読んで頂いた方にとって「そういう見方も面白いかも」と思つて頂けたら嬉しいです。

展示会や見本市では、新しいもの・珍しいものが並んでいます。自分の仕事に関連するものでも、見せ方・伝え方・事業としての切り口など参考になります。全く同じ設備を持つていても、違う人間が扱つていて別の可能性を出している姿が、まぶしくも悔しくも感じられます。例えば「POPコーン」という三角錐の広告工作物。メガホン型に図面を作り、素材に合わせた印刷を施して加工することで自立型のサインになり

ます。また既製品の工事現場などで利用されるカラーコーンに被せて使用することもできる仕様になっています。はがゆいことに、数年前から私もメガホン図面は描いているもの、広告物としての利用は考えておりませんでした。

この会社様は、メイン事業は別のものを取り組んでおり、新たな展開として現在POP製作に注力中であるものの、見せ方や買い方(料金表)などもロットごとにしつかり準備しておられ、商流の入り口・出口がイメージしやすくまとめられており、一般的ではない開発商材事業として参考と反省の多いブースでした。

りですが、新人さんの研修にされているメーカーさんといれば、バリバリの営業本部長がいたり、工場長が力説してくれたり様々です。例えば新人さんが対応してくれた場合、内容はマニュアル通りだとしても、必死に額に汗をかきながら対応してくれる様子から、同じ年代だったころの自分と重ね合わせることで「自分は成長できていないのか?向上心を忘れてないか?」という気持ちにさせてもらいます。また、自信にあふれる営業さんが対応してくれた場合には、「自分のお客様に対応するときは、どう見えているか?」を考えさせられたり、この担当者の言い回しや行間・間の取り方、あえて答えにくい質問をぶつけたときの顔色・声色・回答内容も本当に参考になります。例えば「特殊素材の大きい看板印刷サービス」を主としている会社様。福岡に工場・東京に営業所を構えておられ、東京営業所の営業部長さんが対応してくれたのですが、内容はまるで不動産業の様な展開。視線を見ていると、私の服装や時計・靴なども瞬間的に見て?客層と客単価をはじき出された様です。安い仕事と、自社のストロングポイント・高い仕事の強弱から幅広く丁寧な・誠意をもって対応しています!感が伝わってきました。同じ機械があれば、国内

でなくとも海外でも対応できる時代ですが、「あなたを頼りたい」と思わせる終わらせ方は参考になります。もちろん、相手も私の眼の奥をしっかりと見ているのも忘れていません。私も担当者から上客の可能性を見定められる側であることを感じます。



発行 有限会社ナツプ
編集責任 中田 等
発行日 令和四年 十月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

最後に、「そんなところ、お前しか見ない・感じないよ!」と思われた方が多いかもしれませんが、視点やアングルの方向、偏りを変えようと面白いですよ!という内容でまとめたいつもりです。来年3月には視察したい展示会があります。ジャンル・系統は今回のものに近いもの、全く違うものなど混在した規模が大きいものになります。コロナの影響で参加を控える企業様も、その頃には参戦されていると訪問する価値が高まりますし、私自身も半年先は更に成長した自分(質の高い質問・立ち振る舞い)で臨めるように努めます。この様に文章に書きつつも、本当は展示会で受けた刺激を形(新素材)・行動に表してこそ!ファイイト、自分!



9月17日〜18日にかけて上陸した台風は、ここ数十年体験したことが無いくらいの大雨と強風の大型台風でした。県内色んな所で被害が出ましたが、私の友人の住む高原町は断水が1週間以上続き、水道から水の出ない不衛生な生活を初めて経験して、水の有り難さを改めて実感したそうです。

超大型台風14号が上陸して

9月17日〜18日にかけて上陸した台風は、ここ数十年体験したことが無いくらいの大

この風景は普段の静かな大淀川と、今回の台風で増水した時に撮影した写真です。

私は大淀川沿いに住んでいるので、毎年大雨が降って増水した時の大淀川が部屋のベランダから見えるのですが、今回は雨も風も強かったもので、どんどん増水していく川の水面を横からの強風で、水しぶきが風の吹く方向にどんどん舞い上がる光景を初めて見ました。

毎年台風が接近、上陸するたびに河川敷は水に浸かるのですが、今回は特に大雨が降って水量も多く川の流れも速かったので、河川敷に設置してある看板も流されたり壊れている物も多くあり、樹木も根こそぎ倒れているのが何本もありました。現在も河川敷は流れて来たガレキやゴミが沢山残ったままで、まだ手付かずの状態です。早めに処理して欲しいのですが、残念ながら台風シーズンが終わ



ランチ野郎

見参！「日曜日は都城がお勧め！」の巻

全国チェーン店が宮崎初出店する時に、昔は宮崎市に出店する事が普通だったと思うのですが、最近では高速道路の影響からか、ワークマンや資さんうどんなどのように、まず、都城に出店して次にほかの地域に出店するという流れが出来ているように感じます。

最近では、鹿屋市、志布志市にも無料の高速道路が開通して、ますます流通の拠点として発達しているようです。そして、探索すれば、都城にはお得意でおいしいランチも沢山あります。

今回紹介するのは、牛肉と豚肉を同時に楽しみたい人にお勧めの定食です。場所は、びつくり亭本家都城店から500mくらいのところにある「キッチン火なた」という店です。

そこでのお勧めは、1000円の日替わりランチなのですが、日曜日の日替わりは「赤身ステーキ&とんかつ」です。午後5時までランチメニューを頼めるみたいで、自分が行ったときは午後2時前くらいだったのですが、声が聞こえる範囲でもほとんどの方が日替わりを頼んでいました。内容は写真のように、野菜サラダ、小鉢、シイタケのお吸い物、香の物、赤身ステーキ、とんかつです。いつもだったら、新しいお店に行っ



た場合、自分と妻は別々のメニューを頼んでシェアしたりするのですが、今回は、同じものを頼みました。お昼に、赤身ステーキ&とんかつを食べて満足した後、都城で食事をした後は定番コースになっている、市場の駅セブンチ・マルシェにある「市場果ふえ翠一ツ」のパフェを食べて満足な一日になりました。

いんちきクワイマーが行く！

「猪八重溪谷」編

猪八重溪谷（いのはえけいこく）は、日南市北郷にある野趣に富んだ美しい溪谷です。鰐塚山地の標高2000m、300mに位置しており、五重の滝を筆頭に7つの滝と奇岩からなる緑深い溪谷です。シイ、タブ等の照葉樹、コケ類の豊富さは、世界的にも有名な場所でもあります。

その昔、飢肥杉を伐採・出荷していた頃の、トロッコの跡地が遊歩道となっていて、片道約5キロ、往復で三時間から四時間という、ハイキングコースに最適な場所だ。ちなみにオイラは往復で二時間半くらいでしたが、あまり参考にはなさらないように。

今回は山登りではないけれども、あまりの暑さに、汗をなるべくかかないで済ましたいという、軟弱な思考から、はじめてこの猪八重溪谷を歩くことにしました。

田野町を日南北郷方面へと進み、三十分ほど車を走らせて行くと、北郷リゾートの大きな看板のある交差点へ。そこを左折して、ぐんぐんと山中へ、高度を上げながら狭い路を走ると、唐突に猪八重溪谷に突き当ります。車をおりると、記帳用の小さな建物があり、そこで登山届？を記入しましょう。もしも場合は、これを書く書



かないとでは、搜索の時間が違います。足をくじいたり、怪我をする場合もありますので、届は結構大事です。さて、すぐに遊歩道がはじまり、最初の二百mくらいは、飢肥杉のチップが敷き詰められた、やさしい路です。橋をわたると溪谷沿いに歩く緑豊かな遊歩道が始まります。ナメてかかっていると、外にアップダウンに富んだこのルートは、すぐに足腰に乳酸を貯めてしまうはめになるので、なるだけユックリすすみましょう。



溪谷を対岸に渡ったり戻ったりと、七つの鉄製の橋がかかっています。特に三番目の橋は高度感が抜群で、足元の板の間から、深い溪谷の流れが見えるので、結構怖いかもしれせん。

やがて遊歩道は終わり、路は平らな岩場歩きになります。もうすぐでゴールの「五重の滝」です。

ここで腰をおろして、マイナスイオンを浴びながらお弁当を食べると最高です。缶ビールをプシュッとできるとなお良いですねえ。

実は路はまだ先までつづいており、ためしに歩いてみると、急な登りへと変わり、ヒーヒー言いながら登りつめた先は、本太郎駐車場という名前の場所です。車で林道をのぼりつめた先にある人気のない広場でした。徒労・残念！

遊歩道のハイキングコースとはいえず、山深い場所です。イノシシ、マムシ、スズメバチと、野生の危険がいっぱいなので、しっかり服装や足回りを準備して楽しんでください。

編集後記

ついこの前まで、昼間の時間が長いと思っていました。が、季節柄、すでに暗くなる時間が早いと感ずる季節になってきました。

先日、都城方面に用事があり、車の運転中にたまたま信号待ちをしていた交差点の民家の玄関先でキンモクセイの花が咲いていて、秋の気配を感じる出来事でした。

もうしばらくすると紅葉が楽しめる時期になります。



私は毎年大分県玖珠郡九重町の牧ノ戸峠に紅葉を見に行く事が楽しみにして行っていたのですが、コロナの影響で、2年くらい行けていません。

行ったとしても牧ノ戸峠の紅葉のベストな時期が1、2週間くらいで、その年の気候にも左右され、今年は大きな台風もあったので、状況はどうか心配になります。

今年は綺麗な紅葉を見る事が出来るといいなあ。